

いきいきと輝く社会づくり

私たちは、社員とともに、安全労働、健康経営、ダイバーシティの推進、働きがいのある職場の実現、社会貢献活動の取組み等により、企業の社会的使命を果たし、いきいきと輝く社会づくりに貢献します。

CSR重点活動項目

健康経営の推進

基本的な考え方

社員・家族が心身ともに健康で働き続けられる環境づくりに向けて、NTT西日本グループでは「健康経営」を推進しています。

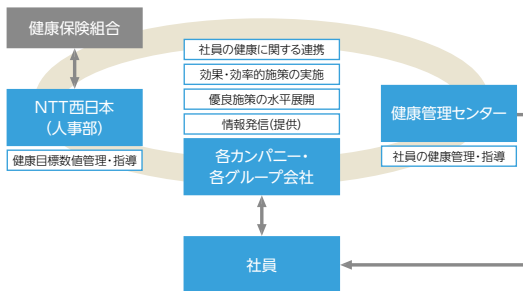
健康経営^{*}の推進体制



NTT西日本グループでは、社員が心身ともに健康で、かつ安心して働き続けられる環境をつくり、社員の生産性・モチベーションが向上するようグループ一体で戦略的に取り組んでいます。推進にあたっては本社人事部が推進責任者となり、健康管理センターと連携し、情報の発信や優良施策の展開、健康管理の指導等を実施しています。また、2018年度より「健康目標」を定め、見える化を図り健康経営を推進しています。

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標

健康経営の推進体制



これまでのおもな取組み

- 定期健康診断はもとより、希望者には人間ドックの受診機会を提供
- 生活習慣病やメタボリックシンドローム対策として健康管理センターと連携した特定保健指導の実施
- 社員とその家族が健康リテラシーを高め、健康保持・増進に向けた行動変容を促すことを目的として「NTT健康ポータルナビ」の導入

2020年度の取組み

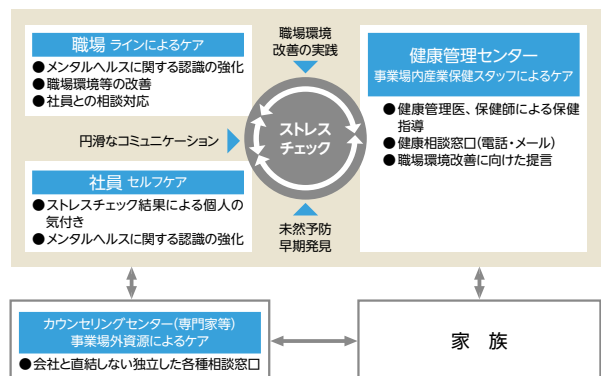
- 社員の健康意識の醸成、運動機会の創出に向けて、効果的な施策を順次展開
 - － 健康経営社内ポータルサイトの開設
 - － グループ内の社員・家族を対象としたウォーキングイベントの実施
- アフターコロナにおけるリモート型の働き方を推進していくうえで、社員のメンタル・フィジカルヘルス対策への積極的な取組み推進
 - － 簡易な問診を定期的に行うことで、社員の体調を把握・管理(セルフケア)するとともに、上長とのコミュニケーション(ラインケア)を促すしくみとして、「パルスサーベイ」を導入
 - － ICTを活用し、24時間365日、専門医への健康相談や質問が可能となる「M3Patient Support Program」を導入
 - － 新型コロナウイルス感染拡大防止の取組みとして、従来対面で実施していた健康相談や保健指導のリモート化推進

メンタルヘルスケア



メンタルヘルス対策については、厚生労働省が定めた「労働者の心の健康の保持増進のための指針」を踏まえ、積極的に取り組んでいます。「4つのケア」に基づいたセルフケアとして、ストレスチェックを実施するとともに、ラインケア研修を含めた各種研修の実施や、社内外の医療スタッフによる健康相談窓口を設け、社内外で相談しやすい環境づくりに努めています。

メンタルヘルス対策推進体制イメージ



CSR重点活動項目

ダイバーシティの推進

基本的な考え方

「ちがいを」価値として、多様な人材が「自分らしく」チャレンジできる組織風土づくりに取り組んでいます。

女性社員の活躍推進



より多くの女性社員がリーダーシップを発揮し、経営の意思決定の場に参画できるよう、女性のライフイベントを踏まえた中長期的な視野でのキャリア意識の醸成と、その実現を支える職場環境、風土づくりに取り組んでいます。中堅女性社員を対象としたマネジメント力向上のための研修や結婚出産等のライフイベントとの両立を支援する各種セミナー、女性社員と管理者との対話会等を毎年継続的に実施しています。政府が推進する「女性活躍推進法(2016年4月1日施行)」についても「一般事業主行動計画」を定め、社員一人ひとりが「自分らしいキャリアの実現」ができる環境づくりに積極的に取り組んでいます。また、2017年度から、ライフイベントと両立したキャリアプランを描けるよう、新卒の採用数を増やし、育児休職を取得した社員の組織へ後任の人事配置を行い、育児休職を取りやすい環境づくりに取り組んでいます。

優良企業認定マーク「えるぼし」最高位に認定

NTT西日本は、女性の活躍に関する取組の実施状況が優良な企業として、2017年1月に厚生労働大臣から女性活躍推進法に基づく認定「えるぼし」の最高位を取得しました。



「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」優秀賞を受賞



2020年2月、NTT西日本は「2019年度大阪市女性活躍リーディングカンパニー」市長表彰にて優秀賞を受賞しました。本賞は大阪市が毎年、女性が働きやすい環境の整備に積極的に取り組む企業等を女性活躍リーディングカンパニーとして認証し、特に取組みが優れた企業を表彰するものです。NTT西日本は認証制度がスタートした2014年度から継続的に認証を受け、2019年度は「女性の積極的な採用、戦略的な配置・研修による育成」「育児休職を取得し

やすい職場風土づくり、早期復職に向けた育児環境整備」「男性社員による育児を推奨する取組み」が評価されました。



表彰式の様子



LGBT等
性的マイノリティへの対応



NTT西日本グループでは、多様性の1つとしてLGBT等性的マイノリティへの適切な対応をめざし、社内外相談窓口での対応に加え、社員の理解醸成に向けた研修やセミナーを実施しています。また、2018年4月にはだれもが安心して働ける環境づくりをさらに推進するため、各種手当、福利厚生等、配偶者およびその家族に関わる制度全般を同性のパートナーにも適用しました。

「大阪市LGBTリーディングカンパニー認証制度」で3つ星(最高位)を取得

2019年3月27日、大阪市役所にて「大阪市LGBTリーディングカンパニー認証制度」の認定交付式が行われ、NTT西日本は、最高位である3つ星の認証を受けました。

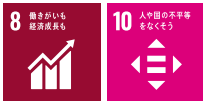
「大阪市LGBTリーディングカンパニー認証制度」は、性的マイノリティが直面している課題等の解消に向けた取組みを促進することを目的として、先進的・先導的に推進している事業者をLGBTリーディングカンパニーとして大阪市が認証する制度です。

NTT西日本では、特に社員の理解醸成に向けた取組み(全社員Web研修、当事者による講演、情報発信等)を推進しており、最高位の評価をいただきました。

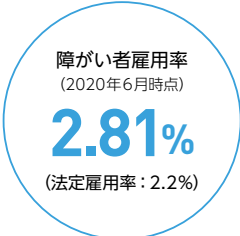


理解醸成に向けた取組み模様

障がい者雇用の推進



NTT西日本グループでは、障がいのある方が職業を通じ、誇りをもって自立した生活を送ることができるよう、多様な活躍フィールドを活かした雇用機会の創出、拡大を図っています。現在1,000人を超える障がいのある社員が、さまざまな職場でNTT西日本グループの通信業務を支えとともに、キャリアアップを果たしながら活躍しています。



アウトバウンドテレマーケティングによるお客さまへの提案

CSR重点活動項目

働きがいのある職場の実現

基本的な考え方

社員個々のライフステージや価値観等を尊重しつつ、社員のワークライフマネジメントのさらなる充実に向けた取組みを展開しています。

「働き方改革」の推進



NTT西日本グループでは、多様な働き方の実現に向け、「働き方改革」に取り組んでいます。

社員の声を起点とした業務改善や、時間と場所にとらわれないテレワークに関する制度・環境整備(フレックスタイム制の見直し、リモートワーク制度および手当の創設、サテライトオフィス設置等)を進めてきました。



本社内サテライトオフィス

また、社員の自己成長と新たな付加価値の

創出に向け、現在の業務を継続しながら新たなフィールドでの業務にもチャレンジできるしくみ「社内ダブルワーク」を導入し、推進しています。NTT西日本グループでは、社員の自律的なチャレンジを組織全体で応援・後押しすることで“認める風土”を醸成し、多くの社員が積極的にチャレンジできる輪を広げていきます。

次世代育成支援



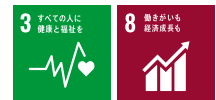
NTT西日本では「次世代育成支援対策推進法(次世代法)」に基づき、性別・年代を問わず、ワークライフマネジメント推進に対する理解促進および社員個人の多様な働き方を受容する組織風土づくりに向けた「行動計画」を立て、その実践に取り組んでいます。その取組み成果が認められ、同法に基づく認定(くるみん認定)を取得しています。

今後は、これまでの取組みの継続、定着に加え、男性社員の育児参画推進や、ライフキャリアに関する個別相談支援により、全社員を対象としたワークライフマネジメントの実現に取り組んでいきます。



「ベストな共働きスタイルを考える」セミナー

企業内保育所等の環境整備



NTT西日本グループは多様な人材の活躍に向けた取組みの一環である「子育て支援」として、2017年に企業内保育所「ゆめみいよ保育園」を愛媛県松山市に開設しました。同保育園は当社社員以外も利用できる施設で、地域の子育て支援に貢献しています。さらに、福利厚生の一環として、西日本エリアで約500の育児施設を利用した際には料金補助等が受けられる等、仕事と家庭を両立できる働きやすい職場環境の充実を図っています。



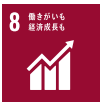


愛媛支店ビル敷地内の「ゆめみいよ保育園」



「ゆめみいよ保育園」室内

職場風土の見える化



NTT西日本グループでは、いきいきとした職場づくりに向け、風土改革の取組みを進めています。その1つとして、毎年、職場風土状況の見える化を目的とした職場診断を実施しています。診断結果を各職場へフィードバックすることで、職場実態にあった改善を促し、さらなるエンゲージメント向上に努めています。

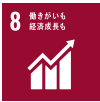
CSR重点活動項目

安全労働の推進

基本的な考え方

職場におけるすべての社員の安全を確保するとともに、快適な職場環境の促進をめざしています。

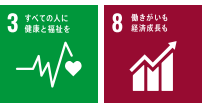
「安全の日」と連動した活動



年2回開催される安全対策協議会で、現場への浸透を図るため、事故再発防止策に関する議論を行う等、労働災害根絶に向け、積極的に取り組んでいます。

2019年度のおもな取組みとして、各職場において安全自主活動の活性化を目的に、全作業員が自ら考え安全な行動をとる活動を推進しています。継続的な取組みとして、人身事故情報を現場作業員に確実かつタイムリーに情報配信するとともに、全作業員が過去の事故事例に学び、再発防止策を確認しています。

労働災害ゼロをめざして

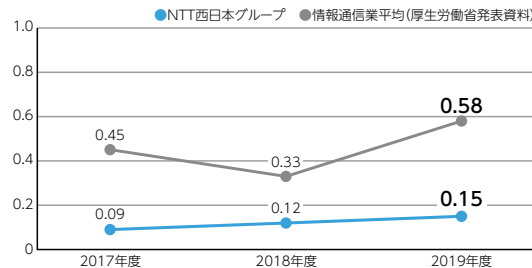


NTT西日本グループは、安全労働を第一に、作業現場の安全パトロール、安全点検、安全講習会、各地域単位での安全大会開催や作業環境の改善等、各種安全対策を積極的に実施し、安全意識の醸成、基本動作の徹底に取組み、

事故の未然防止に努めています。2019年度の休業労働災害については6件発生しており、おもな原因は、基本動作不徹底等によるものです。

これらの未然防止に向けた労働災害についてのタイムリーな情報共有、再発防止に向けた注意喚起を行う等の各種取組みを継続的に実施することで、労働災害ゼロをめざします。安全確保・事故防止に必要な基本事項について、連携する通信建設会社を含めたNTT西日本グループ全体で協議と情報共有を行っています。

■休業労働災害発生度数率の推移



人材育成

人材育成の推進



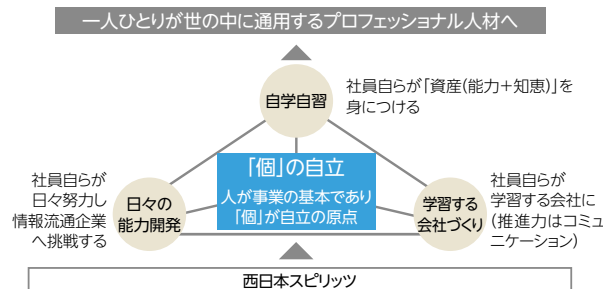
社員一人ひとりがプロフェッショナル人材へと成長していくために、「個」の自立に向けた能力開発を推進し、社員が自らのキャリアデザインを描き主体的に学ぶ姿勢をサポートする環境等を提供しています。具体的には、チャレンジ意欲・モチベーション向上に応えるさまざまな育成プログラムとして、各事業分野に適応した研修、eラーニング、通信教育、社内スキル認定制度、資格取得に向けた支援制度等の整備・充実を図り、スキル・ノウハウの向上に努めています。

研修プログラム数
(2019年度)

2,871

←前年度比12.41%↑→

■人材開発ビジョン



韓国キャリアにFTTH分野の業務改善研修を実施



2019年6月から半年間にわたり、韓国の電気通信事業者のLG Uplus社に対してFTTH(光ファイバー通信分野)の業務改善研修を実施しました。グローバル活動の一環として、海外キャリアとのリレーション構築をはじめ、新たなビジネス創出や海外貢献によるプレゼンス向上等を目的に、設備系の関連部門(ネットワーク部、サービスマネジメント部、NTTフィールドテクノ)と連携して実施したものです。およそ月1回のペースで行った同研修で、LG Uplus社のマネージャーやマネージャー候補者等、計60名が当社のFTTH関連のノウハウを学ぶことにより、自社の業務改善・課題解決につながる契機となりました。同年9月には当社社員がLG Uplus社を訪れ、5G先進国である韓国通信キャリアの設備見学や同社主催のネットワーク通信競技大会の視察等も実施し、海外キャリアとの関係深化を図るうえでも有意義な取組みとなりました。



集合研修の様子

お取引先とのかかわり

公正な取引の徹底



社会の持続可能な成長への要請に応え、NTTグループでは「NTTサプライチェーンCSR推進ガイドライン」や「NTTグリーン調達ガイドライン」等の基本方針に沿ったオープンで公正な調達に取り組んでいます。また、サプライヤの皆さまと連携し、武装勢力の資金源となる「紛争鉱物」の不使用に向けた取組みを推進します。

さらに、NTT西日本では品質や安全性・施工性の向上、環境保護への寄与等の改善をサプライヤの皆さまからご提案いただき、それを仕様に反映させる活動(VA: Value Analysis)を実施しており、優良な提案をいただいたサプライヤに対しては表彰を実施しています。

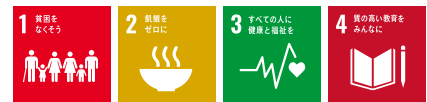
CSR重点活動項目

社会貢献活動の推進

基本的な考え方

NTT西日本グループは“企業は社会の一員である”と考えています。そして、このスローガンのもと、単なる金銭援助ではなく、積極的・継続的に社会貢献活動に参加し、「良き企業市民」として社会と共生することで地域と一体となつてともに感動し、成長しながらより良い未来を創造していきます。

社員食堂から食の不均衡解消に貢献



2020年7月から、NTT西日本本社ビル等の食堂に「TABLE FOR TWO」(TFT)を導入しました。TFTとはNPO法人「TABLE FOR TWO International」が取り組む「飢餓や栄養不足に悩む途上国と肥満や生活習慣病に悩む先進国のそれぞれの社会的問題を同時に解消しよう」とする社会貢献プログラムです。指定のヘルシーメニューを注文すると、その代金から1食につき20円がアジア、アフリカの開発途上国の子どもたちに届けられるしくみです。また、カロリーを抑えたヘルシーメニューはメタボリックシンドロームや生活習慣病の予防に効果があります。世界規模で起きている食の不均衡の解消に寄与するのみならず、社員の健康保全身も見込めます。

エコキャップ運動を推進



NTT西日本では、各支店が主体的に、NPO法人エコキャップ推進協会が提唱する「エコキャップ運動」に取り組んでいます。この運動は、社員が集めたペットボトルのキャップをリサイクル業者に提供し、売却益をNPO法人「世界の子供にワクチンを 日本委員会」に寄付して途上国の子どもたちのワクチン接種に役立てる活動で、廃棄されたキャップの焼却時に生じるGHG削減にも寄与します。たとえば東海エリアでは、2010年に名古屋支店・上前津ビルが回収ボックスを設置したことを契機に、いまでは東海各領域の拠点等にまで本運動が広がり、身近な社会貢献活動として定着しつつあります。